



# 藤小の風

## 【教育目標】

明るい笑顔と学ぶ喜びにあふれた学校

- ・課題を追究する子ども
- ・思いやりの心をもつ子ども
- ・体と心をきたえる子ども

第5号 R6.8.23 (金)

文責：校長（菊地）

## 2学期スタート!

元気いっぱいの子もたちが学校に登校してきました。いよいよ2学期がスタートです。台風等の自然災害による被害、大きな事故やけがもない夏休みであったことに安堵しております。2学期も、家庭・地域と連携して、子どもたちにとって、安全・安心な学校づくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 始業式

8月20日の始業式は、青い目の人形のお話からスタートしました。



広島や長崎の原爆、今も行われている戦争。今年のオリンピック、平和。子どもたちは、多様な人々と互いに尊重し合い、未来を切り拓いていく力が必要です。2学期も、「みんなちがって みんないい」と互いの命を大切にできる子どもを育てていきたいと思ひます。

始業式では、子どもたちを代表して、6年2組の石田遥香さんが「夏休みの思い出と2学期のめあて」を発表しました。「2学期は、修学旅行や学習発表会など大きな行事がたくさんあるので、みんなと協力することを大事にしなが、助け合って生活できるようにしていきたいです。また、1学期に身に付けたことを継続しながら、新しいことにもチャレンジして、大きく成長できる2学期にしたいです。」（一部抜粋）

1学期の終業式では、コロナ感染症の拡大が心配されたので、ICTを使用し、各教室に配信する方法で行いました。菅野 美羽音さん（2年）・菅原 活輝さん（4年）・三浦 篤人さん（6年）・畠山 蒼也さん（6年）が「1学期頑張ったことと夏休み頑張りたいこと」を発表しました。また、熊谷 優真さん（6年）と高橋 心琪さん（5年）がスマートフォンなどのメディアとの付き合い方について発表しました。どの子もよく考えて、すばらしい発表をしていました。

### 行事予定

8月

23日（金）発育測定（高）  
藤沢図書館移動図書  
（5・6年）

26日（月）委員会

27日（火）代表委員会

28日（水）児童集会

29日（木）校内研究会

30日（金）登校指導 クラブ  
藤沢図書館移動図書  
（1・2年）

教室ワックスかけ

教育相談員学校訪問

9月

2日（月）安全点検 清掃場所交代  
委員会 ICT サポーター来校

3日（火）漢字力だめし

4日（水）全校集会  
スクールカウンセラー来校

5日（木）～6日（金）5年生宿泊学習  
お弁当の日

9日（月）校内研究会

10日（火）授業研究会  
特別支援コーディネーター来校

11日（水）復興の日

12日（木）午前授業

13日（金）祖父母参観日 クラブ

16日（月）敬老の日

17日（火）職員会議

18日（水）～25日（水）家庭学習強化週間

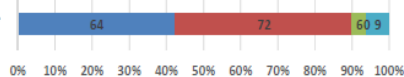
19日（木）～20日（金）6年生修学旅行  
お弁当の日

23日（月）秋分の日

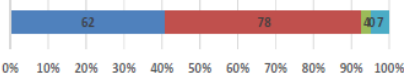
※裏面に1学期の「保護者アンケート」の結果を記載しております。ご覧ください。2学期に生かしてまいります。

## 保護者アンケートの結果から

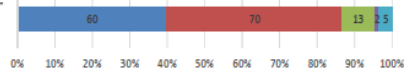
【アンケート1】[学習①]学校は「読み・書き・計算」の復習と、ことばの力を育てるように取り組んでいる。



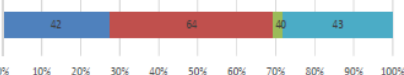
【アンケート2】[学習②]学校は、基礎的な学力が身に付くよう、分かる授業をしている。



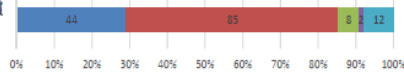
【アンケート3】[学習③]学校は、家庭学習習慣形成に関する指導を行っている。



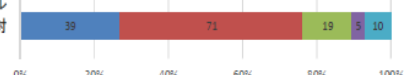
【アンケート4】[学習④]学校は、ICTを取り入れた学習を行っている。



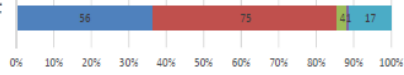
【アンケート5】[生活①]学校は、明るい挨拶や返事の習慣化に取り組んでいる。



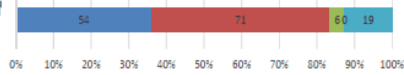
【アンケート6】[生活②]学校は、子どもに寄り添いトラブルの解決に当たり、いじめの予防に取り組むなどの適切な対応に取り組んでいる。



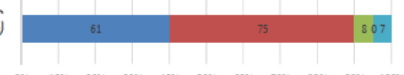
【アンケート7】[生活③]学校は、児童会活動など児童同士のつながりを大切に活動を実施している。



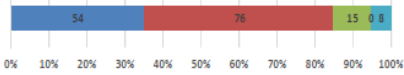
【アンケート8】[生活④]学校は、読書環境の充実と読書習慣の定着に努めている。



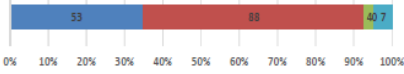
【アンケート9】[健康①]学校は、基本的な生活習慣等(早寝、早起き、歯磨き等)の定着のための情報提供や指導に取り組んでいる。



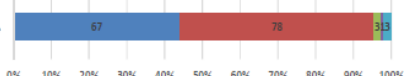
【アンケート10】[健康②]学校は、子どもの体力向上や適切な運動習慣確立に取り組んでいる。



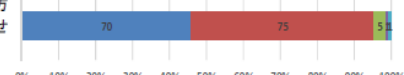
【アンケート11】[健康③]学校は、行事等と関連付けた防災等の安全教育に取り組んでいる。



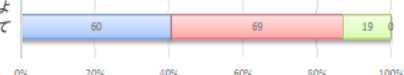
【アンケート12】[説明責任①]学校は、学校教育目標やまなびフェスト、教育活動の様子などについて、参観日や校報、ホームページ、メールなどで知らせている。



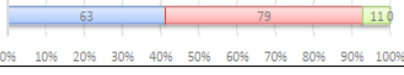
【アンケート13】[説明責任②]学校は、学年・学級の指導方針や実際の活動の様子などについて通信等を通じて知らせている。



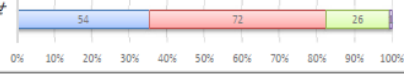
【アンケート14】[家庭教育①]家庭学習に集中して取り組めるよう、テレビなどを消して学習環境を整え、学習を見守り、頑張っていることを認め、励ましている。



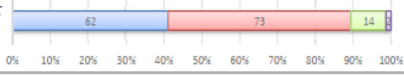
【アンケート15】[家庭教育②]家族同士や地域の人にきちんと挨拶するようにしている。



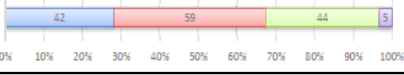
【アンケート16】[家庭教育③]家族の一員としての役割をもたせ取り組ませている。



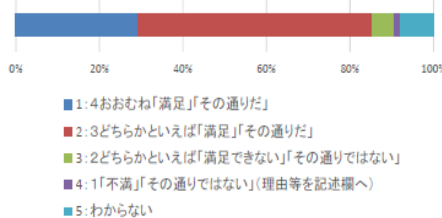
【アンケート17】[家庭教育④]早寝・早起き・朝ご飯の習慣化に努めている。



【アンケート18】[家庭教育⑤]スマホ、ゲーム使用の約束を決め、「居間8ルール」を意識して取り組んでいる。



凡例〔グラフ内の数字は回答実数(人)〕



### 【学習に関すること】

おおむね肯定的な回答(約9割)をいただいています。しかし、ICTを取り入れた学習について「わからない」の回答が3割近くを占めています。学校では授業などで積極的にICTを取り入れるように努めています。保護者の方々にとってはわかりづらい状況であることが読み取れます。今後、授業参観で活用場面を見ていただいたり、家庭学習での使用を検討したりするなど、基礎的な学力がより身につく効果的な利用について考えていきます。また、ご家庭と協力しながら家庭学習の習慣化に向けた指導の継続を行っていきたくと考えます。

### 【生活に関すること】

挨拶や返事、児童同士のつながりを大切に指導については、9割近い肯定的な回答となっています。しかし、トラブル解決やいじめの取り組みについては否定的な回答が2割近くあり、課題ととらえています。集団生活の中で子ども同士のトラブルはつきものです。それを乗り越えて子どもたちは成長していきます。しかし、いじめなどの人権侵害についてはしっかりと対応していかなければなりません。また、自由記述にて厳しいご意見もいただいています。トラブルの早期解決はもとより、未然防止のための活動について工夫していく必要があると考えます。また、子どもに寄り添いながらしっかりと話しを聞いて事実をとらえ、的確な指導につなげるよう心がけていきたいと考えます。

### 【健康に関すること】

9割前後の肯定的な回答をいただいています。今後も子どもたちの安全・安心を第一に取り組んでいきます。そして、ご家庭との連携を図り、今後も心身の健康、体力向上、運動の楽しさにつながる教育活動を工夫してまいります。

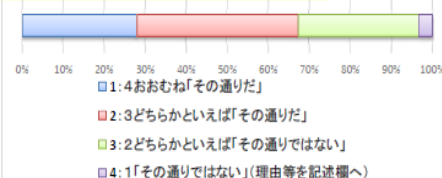
### 【説明責任に関すること】

9割以上の肯定的な評価となっています。今後も紙面、ホームページ、メール(安心でんじょう)等の様々な媒体を活用しながら、できる限りタイムリーに、分かりやすい発信を工夫していきたいと考えます。

### 【その他・自由記述欄から】

自由記述には33件のコメントが寄せられました。そのうちの半数以上は、「楽しく学校に通っている」「写真掲載のお便りが楽しみ」「きめ細やかな指導に感謝」など肯定的な内容でした。一方、10件ほどは、より積極的な情報公開や教師・児童の人権意識向上、教師の指導対応へのご意見、学級の騒がしさへの心配、働いている親への配慮、児童間トラブル・いじめにつながるような出来事への心配、子どもたちのだらしない等が率直に記載されていました。いただいたコメントに対して、学校として、子どもたちの健全な成長のために、何ができるのか真摯に検討し、対応していきたいと考えます。

凡例〔グラフ内の数字は回答実数(人)〕



### 【家庭教育について】

9割ほどのご家庭では挨拶や早寝・早起き・朝ごはんの習慣化を意識して取り組んでいる様子が捉えられます。一方「居間8ルール」については3割以上が取り組みに難しさを感じている実態があります。小中学生のスマホやゲームの長時間使用に関わっては、生活リズムの乱れによる健康被害、脳の機能低下、SNS等の利用によるトラブルや犯罪の発生など、様々な負の面も指摘されています。現代社会には必要不可欠となった端末ではありますが、成長期の子どもたちです。ご家庭の状況に合わせて、ルールを決めていただき、学校・地域と連携して取り組むことが大切だと考えます。